

2023年11月28日(火) 16:30~18:00

青藍会館1階 大会議室

* 会場がいつもと違いますのでご注意ください *

細胞のエピゲノムネットワークに 合成的に介入する化学触媒

千葉大学大学院薬学研究院 教授

山次 健三 博士

生命はタンパク質などの生体分子とそれらに介在する化学反応のネットワークからなる。その化学反応の代表がヒストンタンパク質の翻訳後修飾であり、染色体の動的な構造変化と遺伝子転写の制御に関わることで、エピゲノムの根幹をなしている。我々は、生きている細胞内のヒストンタンパク質をアシル化修飾する化学触媒を開発し、細胞のエピゲノムに合成化学的に介入する研究をおこなってきた。本講演では、3つの化学触媒をとりあげ、その開発と応用について紹介したい。

キーワード：触媒、タンパク質、化学修飾、エピゲノム、ヒストンアシル化

教職員、大学院生、学部学生など皆さまのご来聴を歓迎いたします

本セミナーは薬学研究科（博士前期課程）・創薬科学専攻（博士前期課程）
の大学院特別講義「医薬品創製資源学特論」を兼ねています
- 詳細は薬学部・機能分子合成薬学 傳田将也まで（内線9534） -

お問合せ先：先端酵素学研究所セミナー運営委員会 第54回担当

細胞情報学分野・吉川治孝 [yoshikawa.harunori\[at\]tokushima-u.ac.jp](mailto:yoshikawa.harunori[at]tokushima-u.ac.jp) 内線 7740

主催：徳島大学先端酵素学研究所

共催：文部科学省共同利用・共同研究拠点事業

共催：徳島大学研究クラスター：独自の解析技術と疾患科学の融合によるリボソーム創薬の創生

